

## 設置計画の概要

事 項	記 入 欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジン ヤマグチダイガク 国立大学法人 山口大学
フリガナ大学の名称	ヤマグチダイガクダイガクイン 山口大学大学院 (Graduate School of Yamaguchi University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【人文科学研究科 人文科学専攻】</p> <p>①養成する人材像 「人文科学全域を広い視野にいれながら、専攻分野の研究をさらに深化させ、高度専門職業人を育てる」という理念を根幹とし、人間文化の根本原理を探求し、その多様な展開について、思想、歴史、現代社会、日本・中国言語文学、欧米言語文学の各分野において深く解明する人を育成する。</p> <p>②教育研究上の目的及び学生に習得させる能力 (1)人文科学の視点から世界諸地域の人間文化の固有性と普遍性の探究を深め、学問的課題を発見できる。 (2)人文諸科学について学問的分析方法を修得し、諸課題を解明し、独自の理論を構築し、あるいは仮説を検証する能力を備えている。 (3)自らの研究成果について、口頭や文章によつて的確に表現する技術を修得し、発信することができる。 (4)修得した高度な知識・分析力・判断力及び研究成果を活かし、高度専門職業人として活躍できる。</p> <p>③修了後の進路 教員、公務員</p>
既設学部等において養成する人材像	<p>【人文科学研究科 地域文化専攻】</p> <p>①養成する人材像 人文学領域の幅広い視野、高度な専門知識、洞察力や構想力を備え、社会の様々な課題を発見・認識し、自ら解決策を探る能力を有する専門職業人を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的及び学生に習得させる能力 (1)世界諸地域の文化の固有性と普遍性の探究をさらに深める。 (2)文化・社会の具体相を分析し、論証する能力を養う。 (3)研究成果を活かし、高度専門職業人として社会に貢献する能力を養う。</p> <p>③修了後の進路 教員、公務員</p> <p>【人文科学研究科 言語文化専攻】</p> <p>①養成する人材像 人文学領域の幅広い視野、高度な専門知識、洞察力や構想力を備え、社会の様々な課題を発見・認識し、自ら解決策を探る能力を有する専門職業人を養成する。</p> <p>②教育研究上の目的及び学生に習得させる能力 (1)言語文化の固有性と普遍性の探究をさらに深める。 (2)言語の特質と文学の諸相を歴史的・社会的に分析し、解明する能力を養う。 (3)研究成果を活かし、高度専門職業人として社会に貢献する人間を養成する。</p> <p>③修了後の進路 教員、公務員</p>
新設学部等において取得可能な資格	<p>【人文科学研究科 人文科学専攻】 いずれも資格取得が卒業の必須要件ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教諭専修免許状(社会、国語、外国語(英語))、</li> <li>高等学校教諭専修免許状(地理歴史、公民、国語、外国語(英語))</li> </ul> <p>① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門社会調査士</li> <li>① 一般社団法人社会調査協会認定資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、社会調査協会が定めた科目の履修が必要</li> </ul>
既設学部等において取得可能な資格	<p>【人文科学研究科 地域文化専攻】 いずれも資格取得が卒業の必須要件ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教諭専修免許状(社会)</li> <li>高等学校教諭専修免許状(地理歴史、公民)</li> </ul> <p>① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門社会調査士</li> <li>① 一般社団法人社会調査協会認定資格、② 資格取得可能</li> <li>③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、社会調査協会が定めた科目の履修が必要</li> </ul> <p>【人文科学研究科 言語文化専攻】 いずれも資格取得が卒業の必須要件ではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校教諭専修免許状(国語、外国語(英語))</li> <li>高等学校教諭専修免許状(国語、外国語(英語)、外国語(中国語))</li> </ul> <p>① 国家資格、② 資格取得可能 ③ 卒業要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要</p>

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
新設学部等の概要	人文科学研究科 [Graduate School of Humanities]	人文科学専攻 [Humanities]	2	8	-	16	修士 (文学)	文学関係	平成28年 4月	地域文化専攻	24	13
										言語文化専攻	19	11
										新規採用	3	2
										計	46	26
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	人文科学研究科	地域文化専攻 [Regional Culture]	2	4	-	8	修士 (文学)	文学関係	昭和60年 4月	人文科学専攻	24	13
		言語文化専攻 [Language and Culture]	2	4	-	8				計	24	13
	人文科学研究科	言語文化専攻 [Language and Culture]	2	4	-	8	修士 (文学)	文学関係	昭和60年 4月	人文科学専攻	19	11
										退職	1	1
計										20	12	
【備考欄】												
<p>・入学定員の変更 (改組前) 人文科学研究科 地域文化専攻 入学定員 4名 言語文化専攻 入学定員 4名</p> <p>(改組後) 人文科学研究科 人文科学専攻 入学定員 8名</p>												

教育課程等の概要 (事前伺い)

(人文科学研究科人文科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通必修科目	人文科学総論	1前	2			○			26	17	3			オムニバス兼2兼2	
	知的財産特論	1後	1			○			1						
	研究者行動規範特論	1後	1			○			1						
	小計 (3科目)	—	4	0	0	—	—	—	26	17	3	0	0		
専門科目	思想研究コース	中国哲学思想論	1前		2		○			1				1年次の演習は指導教員の指定する科目4単位を含めて履修する。2年次の演習は指導教員の指定する4単位を必修とする。	
		中国哲学思想論演習 (出土文献)	1前		2			○		1					
		中国哲学思想論演習 (伝世文献)	1後		2				○		1				
		西洋哲学思想論 (哲学)	1前		2			○			1				
		西洋哲学思想論演習 (哲学の歴史)	1前		2				○		1				
		西洋哲学思想論演習 (哲学の理論)	1後		2				○		1				
		西洋哲学思想論 (倫理学)	1後		2				○			1			
		西洋哲学思想論演習 (倫理学の歴史)	1前		2				○			1			
		西洋哲学思想論演習 (倫理学の理論)	1後		2				○			1			
		日本思想論 (古代中世)	1前		2				○		1				
		日本思想論演習 (古代中世・信仰)	1前		2				○		1				
		日本思想論演習 (古代中世・文芸)	1後		2				○		1				
		日本思想論 (近世)	1後		2				○			1			
		日本思想論演習 (近世・学問)	1前		2				○			1			
		日本思想論演習 (近世・文芸)	1後		2				○			1			
		宗教思想論	1後		2				○		1				
		宗教思想論演習 (理論)	1前		2				○		1				
		宗教思想論演習 (応用)	1後		2				○		1				
		芸術論 (美学)	1前		2				○			1			
		芸術論演習 (近代美学)	1前		2					○			1		
		芸術論演習 (現代美学)	1後		2					○					1
		芸術論 (美術史)	1後		2				○		1				
		芸術論演習 (近代美術史)	1前		2					○			1		
		芸術論演習 (現代美術史)	1後		2					○					1
		思想研究演習 (前期)	2前	2						○	5	3			
		思想研究演習 (後期)	2後	2						○	5	3			
小計 (26科目)	—	—	4	48	0	—	—	—	5	3	0	0	0		
歴史研究コース	日本歴史論 (古代)	1前		2			○			1				1年次の演習は指導教員の指定する科目4単位を含めて履修する。2年次の演習は指導教員の指定する4単位を必修とする。	
	日本歴史論 (中世)	1後		2			○				1				
	日本歴史論 (近世)	1前		2				○				1			
	日本歴史論 (近現代)	1後		2				○				1			
	日本歴史論演習 (古代の政治)	1前		2				○		1					
	日本歴史論演習 (古代の社会)	1後		2				○		1					
	日本歴史論演習 (中世の政治)	1前		2				○			1				
	日本歴史論演習 (中世の社会)	1後		2				○			1				
	日本歴史論演習 (近世の政治)	1前		2				○				1			
	日本歴史論演習 (近世の社会)	1後		2				○				1			
	日本歴史論演習 (近現代の政治)	1前		2				○			1				
	日本歴史論演習 (近現代の社会)	1後		2				○			1				
	中国歴史論 (古代・中世)	1前		2				○		1					
	中国歴史論 (近世・近代)	1後		2				○			1				
	中国歴史論演習 (古代・中世の政治)	1前		2					○	1					
	中国歴史論演習 (古代・中世の社会)	1後		2					○	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
歴史研究コース	中国歴史論演習（近世・近代の政治）	1前		2			○			1					1年次の演習は指導教員の指定する科目4単位を含めて履修する。2年次の演習は指導教員の指定する4単位を必修とする。
	中国歴史論演習（近世・近代の社会）	1後		2			○			1					
	西洋歴史論（ヨーロッパ）	1前		2		○					1				
	西洋歴史論（アメリカ）	1後		2		○			1						
	西洋歴史論演習（ヨーロッパの政治）	1前		2			○				1				
	西洋歴史論演習（ヨーロッパの社会）	1後		2			○				1				
	西洋歴史論演習（アメリカの政治）	1前		2			○		1						
	西洋歴史論演習（アメリカの社会）	1後		2			○		1						
	先史考古論（遺物・遺構）	1前		2		○				1					
	比較考古論（政治・社会）	1後		2		○			1						
	先史考古論演習（遺物）	1前		2			○			1					
	先史考古論演習（遺構）	1後		2			○			1					
	比較考古論演習（政治）	1前		2			○		1						
	比較考古論演習（社会）	1後		2			○		1						
	歴史研究演習（前期）	2前	2				○		4	4	2				
歴史研究演習（後期）	2後	2				○		4	4	2					
小計（32科目）	—	—	4	60	0		—	4	4	2	0	0			
専門科目  現代社会研究コース	現代社会変動論（地域社会学）	1前		2		○			1					1年次の演習は指導教員の指定する科目4単位を含めて履修する。2年次の演習は指導教員の指定する4単位を必修とする。	
	現代社会変動論（災害社会学）	1前		2		○			1						
	地域社会計画論（福祉社会学）	1後		2		○				1					
	地域社会計画論（地域福祉）	1後		2		○				1					
	現代コミュニケーション論（道徳性）	1前		2		○			1						
	現代コミュニケーション論（ネットワーク）	1前		2		○			1						
	現代社会意識論（社会問題）	1後		2		○				1					
	現代社会意識論（逸脱）	1後		2		○				1					
	社会生活伝承論（社会生活伝承）	1前		2		○			1						
	社会生活伝承論（現代民俗伝承）	1前		2		○			1						
	造形伝承論（物質文化）	1後		2		○			1						
	造形伝承論（造形伝承）	1後		2		○			1						
	現代社会分析論演習（地域社会学研究）	1前		2			○		1						
	現代社会分析論演習（災害社会学研究）	1後		2			○		1						
	現代社会分析論演習（福祉社会学研究）	1前		2			○			1					
	現代社会分析論演習（地域福祉研究）	1後		2			○			1					
	現代社会分析論演習（コミュニケーション研究）	1前		2			○		1						
	現代社会分析論演習（道徳性研究）	1後		2			○		1						
	現代社会分析論演習（社会問題研究）	1前		2			○			1					
	現代社会分析論演習（逸脱研究）	1後		2			○			1					
	現代社会分析論演習（社会生活伝承研究）	1前		2			○		1						
	現代社会分析論演習（現代民俗伝承研究）	1後		2			○		1						
	現代社会分析論演習（物質文化研究）	1前		2			○		1						
	現代社会分析論演習（造形伝承研究）	1後		2			○		1						
	社会調査法演習（調査企画・設計）	1前		2			○		1						
	社会調査法演習（多変量解析）	1後		2			○			1					
	社会調査法演習（質的調査法）	1後		2			○			1					
	現代社会研究演習（前期）	2前	2				○		4	3					
	現代社会研究演習（後期）	2後	2				○		4	3					
小計（29科目）	—	—	4	54	0		—	4	3	0	0	0			



科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教授	講 師	助 教	助 手			
専門科目 欧米言語文学 研究コース	欧州語比較・対照言語論演習（独英語）	1前		2				○								1年次の演習は指導教員の指定する科目4単位を含めて履修する。2年次の演習は指導教員の指定する4単位を必修とする。
	欧州語比較・対照言語論演習（ゲルマン諸語）	1後		2				○								
	欧州語比較・対照言語論演習（仏英語）	1前		2				○		1						
	欧州語比較・対照言語論演習（ロマンス諸語）	1後		2				○		1						
	欧州文学・比較文学論（独語系）	1前		2			○			1						
	欧州文学・比較文学論（仏語系）	1後		2			○				1					
	欧州文学・比較文学論演習（独語系文学）	1前		2				○		1						
	欧州文学・比較文学論演習（独語系文化）	1後		2				○		1						
	欧州文学・比較文学論演習（仏語系文学）	1前		2				○			1					
	欧州文学・比較文学論演習（仏語系文化）	1後		2				○			1					
	言語論（言語構造論）	1前		2			○				1					
	言語論演習（言語構造）	1前		2				○			1					
	言語論演習（言語類型）	1後		2				○			1					
	言語論（言語情報論）	2後		2			○				1					
	言語論演習（言語文法処理）	1前		2				○			1					
	言語論演習（言語情報処理）	1後		2				○			1					
	欧米言語文学演習（前期）	2前	2					○		8	4					
欧米言語文学演習（後期）	2後	2					○		8	4						
小計（39科目）		—	4	74	0		—		8	4	0	0	0			
合計（158科目）			—	24	290	0		—	26	17	3	0	0			
学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野			文学関係											

## 設置の趣旨・必要性

### I 設置の趣旨・必要性

#### 1. 教育改革に至る経緯・背景

山口大学大学院人文科学研究科は、昭和 60 年、「より広い視野にたつて総合的かつ精深・高度な学識を授け、学術研究の成果をもって社会の要請に応える」ことを目的として、地域文化専攻（学生定員 4 名）及び言語文化専攻（学生定員 4 名）の 2 専攻で設置された。以来、社会の変化や学生のニーズに応じて、カリキュラム改訂などの改善を適宜図りながら、教育体制の整備に努めてきた。

情報化・グローバル化が著しく進むなかで、大学院教育に対する期待や価値観は、近年ますます多様化してきている。社会環境の激変や学生の質的变化をふまえて、人文科学研究科では平成 23 年度に大学院教育検討委員会を設置し、本研究科の将来構想の設計に着手した。同委員会において、現状と課題を総合的に検証した結果、地方国立大学としての本研究科の果たすべき役割と機能を再構築し、養成すべき人材像を明確にするためには、現行の 2 専攻を 1 専攻（人文科学専攻）に改組し、思想研究コース、歴史研究コース、現代社会研究コース、日本・中国言語文学研究コース、欧米言語文学研究コースの 5 研究コースから成る新たな体制を構築したうえで、教育課程を刷新することが不可欠であるとの結論に至った。

1 専攻に改組後、各研究コースを構成する専門分野は以下のとおりである。

- ・思想研究コース： 西洋哲学，東洋思想史，美学・美術史，宗教学
- ・歴史研究コース： 日本史，東洋史，西洋史，考古学
- ・現代社会研究コース： 現代社会学，社会心理学，民俗学・文化人類学
- ・日本・中国言語文学研究コース： 日本語学，日本文学，中国語学，中国文学
- ・欧米言語文学研究コース： 英語学，英米文学，ヨーロッパ語学・比較言語学，ヨーロッパ文学・比較文学，言語学

なお、平成 24 年の「大学改革実行プラン～社会の変革のエンジンとなる大学づくり～」の公表をふまえて、本研究科では上記の教育課程の改善の検討に加えて、「ミッションの再定義（人文科学分野）」の検討も進めた。その結果、「人文学領域の幅広い視野、高度な専門知識、洞察力や構想力を備え、社会の様々な課題を発見・認識し、自ら解決策を探る能力を有する専門職業人を養成する」ことを、本研究科の使命として明確化し、「今後、社会人、留学生を含め、時代の動向や社会構造の変化に的確に応え、課程制大学院制度の趣旨に沿った教育課程と指導体制の充実・強化を通じ、大学院における当該分野の強み・特色を明確にする」との将来ビジョンを公表した。この将来ビジョンを実現する取組の一環として、このたびの改組は行われるものである。

## 2.養成する人材像

改組後の本研究科においては、現代文明が抱える諸課題を明確に捉え、その解決に貢献できる人材を養成するため、「人文科学全域を広い視野にいれながら、専攻分野の研究をさらに深化させ、高度専門職業人を育てる」という理念を根幹とし、「人間文化の根本原理を探求し、その多様な展開について、思想、歴史、現代社会、日本・中国言語文学、欧米言語文学の各分野において深く解明する人を育成」という目標を掲げて、教育課程を展開する。課程を修了し、学位が授与されるためには、次の要件を満たさなければならない。

### 【人文科学研究科ディプロマ・ポリシー】

1. 所定の年限以上在籍し、人文科学研究科が理念・目標に沿って設定した授業科目を履修し、さらに論文の審査に合格して、修士課程修了相当の学識を備えていると認められる。
2. 人文科学の視点から世界諸地域の人間文化の固有性と普遍性の探究を深め、学問的課題を発見できる。
3. 人文諸科学について学問的分析方法を修得し、諸課題を解明し、独自の理論を構築し、あるいは仮説を検証する能力を備える。
4. 自らの研究成果について、口頭や文章によつて的確に表現する技術を修得し、発信することができる。
5. 修得した高度な知識・分析力・判断力及び研究成果を活かし、高度専門職業人として活躍できる。

なお、本研究科の学位論文は、次の審査基準に依って行う。

1. 独創性 当該研究テーマは当該領域において学術的意義を有し、かつ独創的なものであるか。
2. 厳格性 先行研究や関連研究の成果が確実に把握され、厳格な論証が展開されているか。
3. 論理性 論点が明確で、論理的な分析、実証がおこなわれ、一貫性のある論述がなされているか。
4. 発展性 当該研究テーマは将来的な発展の可能性を有する内容であるか。

(「山口大学大学院人文科学研究科の学位論文の審査及び最終試験実施要項」第四)

## II 教育課程編成の考え方・特色

### 1.教育課程編成の考え方

人文学の体系的な分野が備わった本研究科においては、多様な分野を複合的に、かつ高密度に学修できる格好の環境が整っている。こうした優位的な機能を強化することを通じ



て、課題発見能力、研究能力、知的柔軟性及び忍耐力、知的包容力、自己認識力、発信力を有した有為の高度専門職業人を養成するため、以下の教育課程を編成する。

教育課程の区分、編成は、研究科共通の必修科目（4 単位）及び専門分野の授業科目（26 単位）とし、共通の必修科目を「人文科学総論（2 単位）」、「知的財産特論（1 単位）」、「研究者行動規範特論（1 単位）」に、専門分野の授業科目を 1 年次生用「必修授業科目（演習）（4 単位）」、2 年次生用「必修授業科目（演習）（4 単位）」、自研究コースの授業から「選択授業科目（14 単位以上）」及び他研究コースの授業から「関連授業科目（4 単位）」に細分する。

#### [コアとなる科目]

人文科学研究に関する基本的かつ体系的知識を学ぶため、コースを横断してオムニバス形式で行う研究科共通のコアとなる科目「人文科学総論」（2 単位）を開設

#### [研究基盤を確立するための科目]

- ・「知的財産特論（1 単位）」は、知的財産に関する知識やその利活用スキルを駆使することのできる人材を育成することを目的とする。
- ・「研究者行動規範特論（1 単位）」は、各自の専門性や必要性に適合した学術研究活動における研究者の使命と目標を明確にする。

#### [専門分野の授業科目]

体系的に組織されたカリキュラムの下、講義系科目の履修を基礎に、「演習」を組み合わせたコースワークを導入し、少人数教育によって学問の基礎から応用力まで幅広く修得させる。自研究コースについて高度な専門知識を修得し、原典を忠実かつ正確に読み取る能力や幅広い専門応用力が身につくことを意図したものである。

## 2.教育課程編成の特色

### 1)コアとなる科目及び研究基盤を確立するための科目の開設

1 専攻になる利点を活かし、コースを横断した研究科共通の必修科目 3 科目を、本学人文・社会科学系大学院改革の先駆的取組として開設する。

- ・「人文科学総論」 本研究科において基本となる素養を涵養
- ・「知的財産特論」 知的財産に関する知識やその利活用スキルを修得
- ・「研究者行動規範特論」 学術研究活動における研究者の使命と目標を理解

### 2)「先取り履修制度」の導入

学部学生に 10 単位を上限とした大学院授業科目の先取り履修を認めることにより、6 年一貫の教育体制を構築し、ストレートマスターの増加に向けて努力していく。学部の単位を修得し終えた 4 年次生が、本研究科への進学を見据えて学部在学中に大学院の授業科目を先取りで履修することにより、進学後に自らの研究及びキャリア教育に時間を割ける等先取り履修のメリットを活かした教育を行う。

### 3)研究指導体制の充実

現在は主指導教員が論文指導を行い、隣接分野の副査 2 名を加えて論文審査にあたって

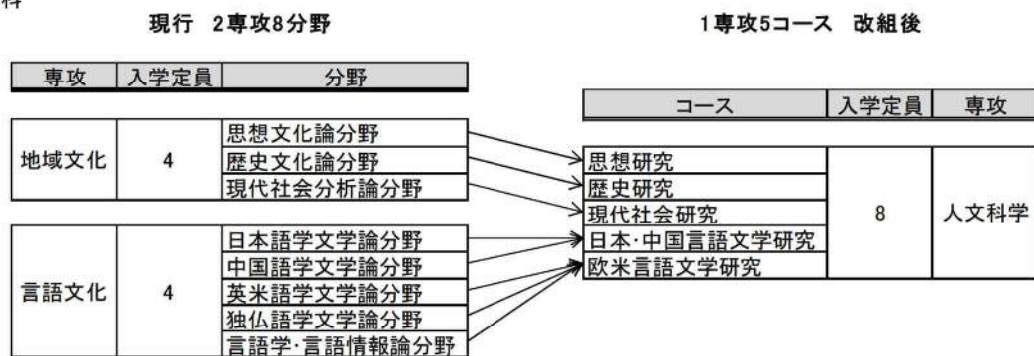
いるが、1専攻に改組し、専攻間の障壁が解消されることから、研究内容に応じて他コースの教員を副指導教員に指定することも可能とし、研究指導體制の充実を図る。

#### 4)各種資格の取得

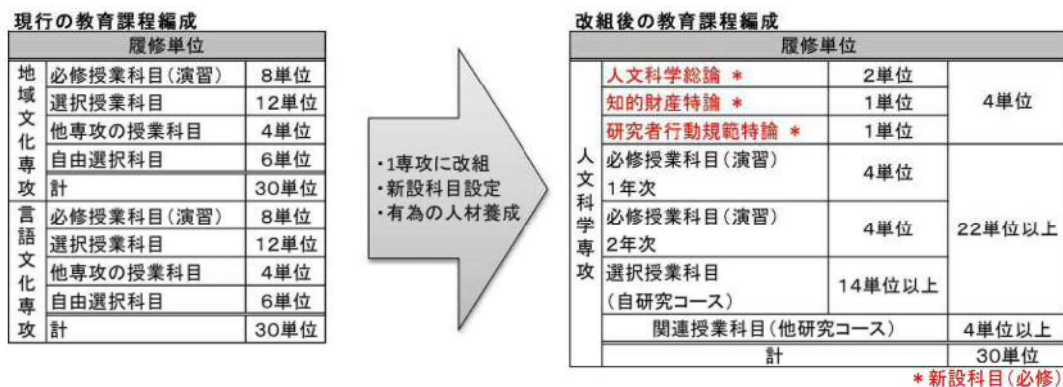
本研究科では、改組後においても、教育職員免許状（中学校教諭専修免許状〔社会、国語、外国語（英語）〕、高等学校教諭専修免許状〔地理歴史、公民、国語、外国語（英語）〕）及び専門社会調査士という、専門的な資格が取得できるカリキュラムを引き続き準備している。課程修了後、これらの資格を存分に活かして、社会で活躍できる人材を養成する。

#### 【研究科組織の移行図】

研究科



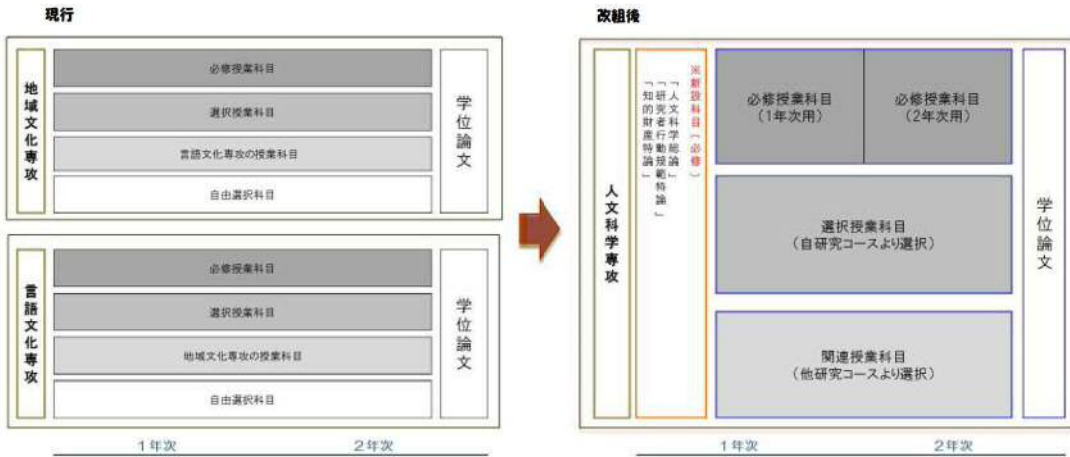
#### 【教育課程編成の移行図】



卒業要件及び履修方法	授業期間等	
人文科学総論2単位、知的財産特論1単位、研究者行動規範特論1単位、 1年次用演習から指導教員の指定した科目について4単位、 必修授業科目（2年次用演習、ただし指導教員の指定した科目）から4単位、 選択授業科目（自研究コース）14単位以上、 選択授業科目（他研究コース）から4単位以上、計30単位以上を修得する。	1学年の学期区分	2学期 ※一部クォーター授業を開講
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

## 参考資料

### 【現行・改組後のカリキュラムイメージ】



教育課程等の概要（事前伺い）

（既設 人文科学研究科地域文化専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
思想文化論分野	西洋哲学思想論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	西洋哲学思想論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	西洋哲学思想論演習	1・2前後	2				○		1							
	西洋倫理思想論	1・2前後		2		○				1						
	西洋倫理思想論演習	1・2前後	2				○			1						
	倫理学応用論	1・2前後		2		○				1						
	倫理学応用論演習	1・2前後	2				○			1						
	中国哲学思想論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	中国哲学思想論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	中国哲学思想論演習	1・2前後	2				○		1							
	日本思想論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
	日本思想論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	日本思想論演習	1・2前後	2				○		1	1						
	比較宗教論	1・2前後		2		○			1							
	比較宗教論演習	1・2前後	2				○		1							
	芸術論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
	芸術論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	芸術論演習	1・2前後	2				○		1	1						
小計（18科目）		—	14	22	0	—			5	3	0	0	0			
専門科目	日本歴史文化論Ⅰ	1・2前後		2		○			1	1						
	日本歴史文化論Ⅱ	1・2前後		2		○				1	1					
	日本歴史文化論演習	1・2前後	2				○		1	2	1					
	中国歴史文化論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	中国歴史文化論Ⅱ	1・2前後		2		○				1						
	中国歴史文化論演習	1・2前後	2				○		1	1						
	西洋歴史文化論Ⅰ	1・2前後		2		○					1					
	西洋歴史文化論Ⅱ	1・2前後		2		○				1						
	西洋歴史文化論演習	1・2前後	2				○		1	1	1					
	原始文化論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
原始文化論Ⅱ	1・2前後		2		○			1								
原始文化論演習	1・2前後	2				○		1	1							
小計（12科目）		—	8	16	0	—			3	5	2	0	0			
現代社会分析論	現代社会変動論	1・2前後		2		○			1							
	地域社会計画論	1・2前後		2		○			1							
	現代社会意識調査論	1・2前後		2		○			1							
	現代コミュニケーション論	1・2前後		2		○			1							
	比較社会生活誌論	1・2前後		2		○			1							
	社会生活伝承論	1・2前後		2		○			1							
	造形伝承論	1・2前後		2		○			1							
	現代政治社会変動論	1・2前後		2		○			1							
	現代国際社会論	1・2前後		2		○			1							
	現代社会分析論演習	1・2前後	2				○		4	2						
	社会調査法演習Ⅰ	1・2前後		2			○		1							
社会調査法演習Ⅱ	1・2前後		2			○			1							
社会調査法演習Ⅲ	1・2前後		2			○			1							
小計（13科目）		—	2	24	0	—			4	2	0	0	0			
合計（43科目）		—	24	62	0	—			12	10	2	0	0			
学位又は称号	修士（文学）	学位又は学科の分野			文学関係											

指導教員の指導のもとに、所属する研究分野の演習8単位の必修、所属する研究分野の授業科目（演習を除く。）から12単位を履修。

教育課程等の概要 (事前伺い)

(既設 人文科学研究科言語文化専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	日本語論Ⅰ	1・2前後		2		○			2							指導教員の指導のもとに、所属する研究分野の演習8単位必修、所属する研究分野の授業科目(演習を除く。)から12単位を履修。
	日本語論Ⅱ	1・2前後		2		○					1					
	日本語論演習	1・2前後	2				○		2		1					
	日本文学論Ⅰ	1・2前後		2		○				2						
	日本文学論Ⅱ	1・2前後		2		○			1	1						
	日本文学論演習	1・2前後	2				○		1	3						
	小計(6科目)	—	4	8	0				3	3	1	0	0			
	中国語論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
	中国語論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	中国語論演習	1・2前後	2				○		1	1						
	中国文学論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	中国文学論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	中国文学論演習	1・2前後	2				○		1							
	小計(6科目)	—	4	8	0				2	1	0	0	0			
	英米語論Ⅰ	1・2前後		2		○			2							
	英米語論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	英米語論演習	1・2前後	2				○		2							
	英米文学論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	英米文学論Ⅱ	1・2前後		2		○			1							
	英米文学論演習	1・2前後	2				○		2							
	小計(6科目)	—	4	8	0				4	0	0	0	0			
	ドイツ語論Ⅰ	1・2前後		2		○			1							
	ドイツ語論Ⅱ	1・2前後		2		○				1						
	ドイツ語論演習	1・2前後	2				○		1	1						
ドイツ文学論Ⅰ	1・2前後		2		○			1								
ドイツ文学論Ⅱ	1・2前後		2		○			1								
ドイツ文学論演習	1・2前後	2				○		1								
フランス語論	1・2前後		2		○			1								
フランス語論演習	1・2前後	2				○		1								
フランス文学論Ⅰ	1・2前後		2		○				1							
フランス文学論Ⅱ	1・2前後		2		○				1							
フランス文学論演習	1・2前後	2				○			1							
小計(11科目)	—	8	14	0				2	2	0	0	0				
現代社会分析論	言語学構造論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
	言語学構造論Ⅱ	1・2前後		2		○				1						
	言語構造論演習	1・2前後	2				○			1						
	言語情報論Ⅰ	1・2前後		2		○				1						
	言語情報論Ⅱ	1・2前後		2		○				1						
	言語情報論演習	1・2前後	2				○			1						
小計(6科目)	—	4	8	0				0	2	0	0	0				
合計(35科目)			—	24	46	0			11	8	1	0	0			
学位又は称号	修士(文学)		学位又は学科の分野				文学関係									